

八千代ゆかりの選手が 東京オリンピック水球日本代表に選出



水中の格闘技ともいわれる、水球。

東京オリンピック日本代表に、市内にある秀明大学の関係者（専任講師・在学生・卒業生）から、6名が選出されました。女子は今回が初のオリンピック出場です。選手や水球の試合日時を紹介しますので、みんなで応援しましょう。

（文化・スポーツ課 電話481-0305）

水中では想像できない激しさが

水球は、1チーム7人（フィールドプレイヤー6名、ゴールキーパー1名）が、8分間×4ピリオド（1ピリオド毎に休憩あり）の間、得点数を競う球技です。ゴールキーパー以外の選手はボールを両手で持てはいけません。選手たちは、水中で身体を垂直に維持しながらシュートやパスをします。

プール内を泳ぎ回って、ボールを奪うために、時には激しくぶつかり合い、審判から見えにくい水中では、相手をつかむなどといったプレーも少なくありません。その激しさから「水中の格闘技」ともいわれています。同時に、攻撃開始後30秒以内にシュートをしなければなら

ないなど、スピードを求められるスポーツでもあります。

笛は試合が動くタイミング

試合では、様々なファウルが発生することから、審判が笛を吹くシーンを多く目にします。

ファウルには、大きく分けて2つのファウルがあり、オーディナリーファウルとパーソナルファウルがあります。オーディナリーファウルは頻繁に発生し、攻撃権のあるチームのフリースローから試合が再開されます。

パーソナルファウルをした選手は、自陣のゴール横にある「退水ゾーン」で20秒間待機し、その間に相手チームがゴールするか、攻撃権が移るまで待たけ

ればいけません。その時は相手チームより人数が少なくなるため、失点する可能性が非常に高い状況となります。なお、試合中にパーソナルファウルを3回行った選手は「永久退水」とされ、二度とその試合に復帰することはできません。

カウンターアタックに注目を

今回、秀明大学から選出された代表選手の皆さんへアンケートをお願いしたところ、日本ならではのチームプレーによる粘り強いディフェンス（守り）で、攻撃を防いでから、素早いプレーでゴールへ繋げたいという想いを聞きました。

観戦の際は、このようなカウンターアタックや、選手の得意なプレーに注目してみてくださいはいかがでしょうか。

水球競技(予選)スケジュール

- ①女子 7月24日(土)午後2時～4時50分
- ②男子 7月25日(日)午後2時～4時50分
- ③男子 7月27日(火)午後6時20分～9時10分
- ④女子 7月28日(水)午後6時20分～9時10分
- ⑤男子 7月29日(木)午後6時20分～9時10分
- ⑥女子 7月30日(金)午後6時20分～9時10分
- ⑦男子 7月31日(土)午後6時20分～9時10分
- ⑧女子 8月1日(日)午後6時20分～9時10分
- ⑨男子 8月2日(月)午後6時20分～9時10分

▲東京辰巳国際水泳場で開催されます。

選出された選手の皆さんにアンケートをお願いしました

- ① 水球を始めたきっかけ ② オフの日に過ごす八千代市のお気に入りの場所
- ③ チームでの役割、得意なプレー ④ オリンピック出場に向けた今の気持ちや抱負など

大川 慶悟さん (おおかわ けいご)さん



- ① 地元クラブで競泳をしていたころ、水球コースの練習に興味を持ち、始めました。
- ② 八千代市内にあるバーベキュー場です！家族で楽しんでいます！
- ③ キャプテンとして、言葉だけでなく、行動でもチームをまとめること。得意なプレーは高校時代から磨き上げてきたカウンターアタックです！
- ④ 代表に選出されたときは、出場の喜びよりも責任を感じましたが、支えてくれた方に感謝の気持ちを忘れずに全力で戦い、メダル獲得を目指します！

広告